

2020 年 度

学 生 募 集 要 項

(推薦入試Ⅱ)

[大学入試センター試験を課す推薦入試]

教育学部	学校教育教員養成課程 (幼児教育コース) (教育科学コース・教科教育コース・ 特別支援教育コース)
農林海洋科学部	農林資源環境科学科 (暖地農学主専攻領域) (自然環境学主専攻領域) (森林科学主専攻領域) (生産環境管理学主専攻領域) 農芸化学科 海洋資源科学科 (海洋生物生産学コース) (海底資源環境学コース) (海洋生命科学コース)

※医学部医学科は別冊子

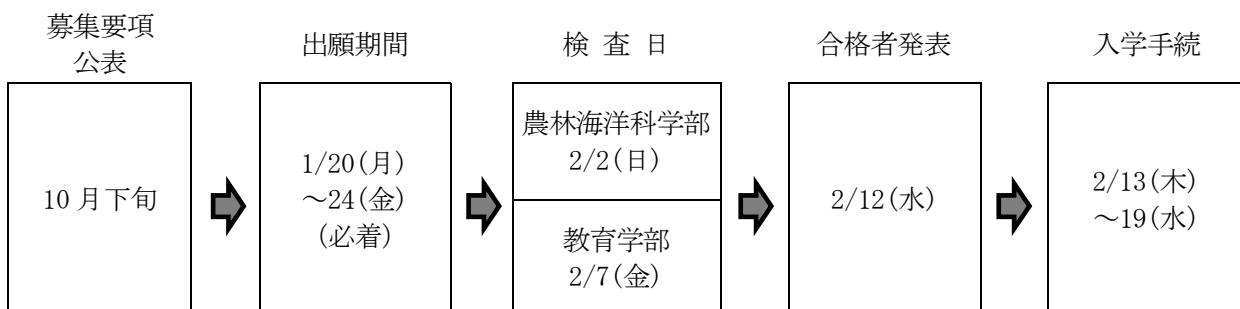
出願方法はインターネット出願です。

出願手続は「インターネットによる入力」, 「入学検定料の支払い」, 「必要書類の郵送」を行っていただきます。



目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
1 実施する学部（学科・課程等），募集人員及び出願資格	3
2 個別の入学資格審査	5
3 出願手続	
(1) 出願方法	5
(2) 出願期間	5
(3) 入学検定料	5
(4) 出願に関する留意事項	6
(5) 郵送が必要な書類等	6
(6) 受験票の印刷	6
4 障がい等のある者の出願	6
5 選抜方法	8
6 実施教科・科目・配点等	
(1) 各学部共通の注意事項	12
(2) 各学部の注意事項	12
7 検査期日・時間及び検査場	14
8 受験上の注意事項	
(1) 検査場への集合等	14
(2) 携行品	14
(3) 受験票	14
(4) 遅刻者	14
(5) その他	15
9 合格者発表と選抜結果の通知	15
10 入学手続	
(1) 入学手続期間	15
(2) 入学手続書類の送付先	15
(3) 入学手続書類	16
(4) 入学手続時に要する経費	16
(5) 注意事項	16
11 不合格者の国公立大学への出願	16
12 入学試験に関する情報の開示	16
13 個人情報の取扱い	17
検査場案内	18
各キャンパス案内図	19
入試情報	裏表紙
受験時の宿泊	裏表紙



アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

アドミッション・ポリシーは入学者を受け入れるための基本的な方針です。本学のアドミッション・ポリシーでは、受け入れる学生に求める学習成果を、[知識・技能]，[思考力・判断力・表現力]，[主体性・多様性・協働性]，[関心・意欲]の各能力で示しています。能力の具体的な内容は学部・学科・コース等で異なりますので、よく読んで認識しておいてください。

ここに挙げられている学習成果の各能力は、入試種別に応じ、その評価の方法と基準が異なってきます。

本学の推薦入試Ⅱでは、評価方法別に学習成果のどの能力をどの程度重視するかを示す対応表をつけています。対応表の見方の説明は8ページの**注**をご覧ください。

※「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

教育学部

教育学部は、「幅広い教養と教育（保育）とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育（保育）という営みや教師（保育士）という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 教育実践に必要なとされる幅広い教養や教育（保育）に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育と教師（保育と保育士）の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。

農林海洋科学部

農林海洋科学部は、「幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力を持って、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 農学、海洋科学に関連するそれぞれの専門知識を修得するために必要となる、高等学校で履修する各教科の基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。
3. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性

1. 理科に関連する学問や研究に強い関心を持ち、主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備え、真摯に学ぶことができる。
3. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、科学的な視点から意見交換ができる。
4. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。

関心・意欲

1. 農学、海洋科学に関連するそれぞれの分野に関心を持ち、それらの分野について意欲的・積極的に学ぶ熱意がある。
2. 社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

学部共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学科個々のアドミッション・ポリシーを以下に示します。

■農林資源環境科学科

農林資源環境科学科は、「農業、林業、生産環境及び自然環境に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

本学科では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 農業及び林業の生産環境及びその利用とそれらに関係する自然環境に関連する専門的知識を理解するにあたって必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
3. 正しい日本語及び英語を用いて表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 異分野を含むさまざまな人と、農林資源環境科学分野に関連した意見交換ができる。
2. 農業及び林業の生産環境及びその利用とそれらに関係する自然環境の知識及び最新成果について強い関心と意欲を持ち、主体的に学ぶことができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備え、真摯に学ぶことができる。

関心・意欲

1. 技術者・研究者として備えるべき責任と役割を自覚し、農林資源環境科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
2. 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。

■農芸化学科

農芸化学科は、「化学的視点から生物生産を幅広く探求でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

本学科では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 農芸化学分野の高度な専門知識を修得するために必要となる高等学校の教科学習、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。

主体性・多様性・協働性

1. 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持ち、主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。

関心・意欲

1. 生命現象を遺伝子・タンパク質・生理活性物質など目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。
2. 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改善に役立てる意欲がある。
3. 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
4. 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学の視点から理解し、それらを利用して地域社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

■海洋資源科学科

海洋資源科学科は、「“海洋資源”をキーワードとし分野間での相互交流を促進し、生物学、化学、地学、物理学の分野から多面的に『海洋資源』をみることができ広い視野を持った人材」を養成します。

本学科・各コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

海洋生物生産学コース

知識・技能

1. 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得するために必要となる生物学・化学に関する基礎的知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋の生物生産に関する問題について、科学的・合理的思考で分析しながら、実際に行動し解決する素養がある。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。

主体性・多様性・協働性

1. 海洋の生物生産に関する学問や研究に高い関心を示し主体的に学ぶことができる。
2. 水産学的視点を持ちながら異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

1. 「海洋の生物資源」及び「海洋の資源管理」に関心を持ち、それらを利用して水産学的視点から地域社

会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

2. 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得することや、それらの知識を利用しながら水産学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

海底資源環境学コース

知識・技能

1. 海底資源環境に関する専門的な知識を修得するために必要となる高等学校の教科、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海底資源環境に関するさまざまな問題について、科学的思考から総合的に判断し、行動、解決する素養がある。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。

主体性・多様性・協働性

1. 海底資源に関する専門的な知識を修得することや、それらを基にした研究や開発について主体的に学ぶことができる。
2. 海底資源学・資源応用学的視点を持ちながら異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

1. 「海底資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、海底資源学・資源応用学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究や開発を行う意欲がある。

海洋生命科学コース

知識・技能

1. 海洋フィールドでの生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源管理に関する専門的な知識を修得するために必要となる基礎的知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋フィールドで見られる生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理について、「化学」あるいは「生物学」の視点から観察し考察するための基礎的な思考力と判断力を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。

主体性・多様性・協働性

1. 海洋生命現象や海洋生物由来の有用物質に関係する知識及び最新成果について、主体的に学ぶことができる。
2. 異分野を含むさまざまな人々と、海洋生命科学に関連した意見交換を行い協働することができる。

関心・意欲

1. 海洋生命現象や海洋生物由来の有用物質に関心を持ち、生物学ならびに化学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

1 実施する学部(学科・課程等), 募集人員及び出願資格

入学定員の一部について、大学入試センター試験を課す「推薦入試Ⅱ」を実施します。

国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合又は課さない場合を含めて)への出願は、一つの大学・学部に限ります。ただし、本学の大学入試センター試験を課さない推薦入試Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱに出願することができます。

【共通の注意事項】

- 出願資格欄の高等学校には、中等教育学校、高等専門学校(3年次)及び文部科学大臣が高等学校の課程と同様の課程又は相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
- 学校長が推薦できる人員については、教育学部は各募集単位につき1校3人以内(分校は本校とは別に1校として扱います。)、農林海洋科学部は制限がありません。
- 募集人員に欠員が生じた場合は、一般入試で欠員を補充します。

実施学部 (学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格
教育学部	学校教育教員養成課程 幼児教育コース	4人 (2人) (注2)	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学校教員を目指す強い意志と情熱を持った者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
	教育科学コース 教科教育コース (注1) 特別支援教育コース	23人 (10人) (注2)	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	暖地農学 主専攻領域	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月に卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
		自然環境学 主専攻領域	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
		一般推薦 5人	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、農業、工業、水産に関する学科及び総合学科で農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者を除く (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
		専門推薦 1人	高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上で、学習成績概評が㊤の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
	森林科学 主専攻領域		

実施学部 (学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	
農 林 海 洋 科 学 部	農林資源環境科学科 生産環境管理学 主専攻領域	4人	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	
	農芸化学科	5人	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる化学の学力に優れた者。あるいは、高等学校を卒業(修了)した者においては、化学の学力に優れ、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	
	海洋資源科学科	海洋生物生産学 コース	一般推薦 6人	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、農業、工業、水産に関する学科及び総合学科で農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者を除く (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
			専門推薦 2人	高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上で、学業成績概評が㊤の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
		海底資源環境学 コース	5人	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
		海洋生命科学 コース	4人	高等学校を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学業成績・人物が優秀な者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者

(注1) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

(注2) 募集人員には、高知県枠としてそれぞれ()書きの人数以内を含みます。高知県枠には高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。

高知県枠以外は「一般枠」と称し、高知県枠出願者は、全員を「一般枠」との併願者として取り扱います。

2 個別の入学資格審査

出願資格以外の教育施設で教育を受けた者が出願する場合は、「個別の入学資格審査」を行いますので高知大学学務部入試課にお問い合わせください。

(1) 審査の方法等

申請者から提出される書類（本学所定の用紙等）により、高知大学入試企画実施機構会議において審査します。

(2) 申請期間及び問い合わせ先

2020年1月17日（金）（必着）までに申請してください。

問い合わせ先：〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

高知大学学務部入試課（電話 088-844-8153）

3 出願手続

(1) 出願方法 インターネット出願

四国の国立5大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）が共同で開設するインターネット出願サイト（以下、「インターネット出願」という）を使用し、出願を受け付けます。

インターネット出願で必要事項を入力したうえで、入学検定料の支払い、調査書等の必要書類を郵送する必要があります。

郵便事情を十分考慮のうえ、調査書等の郵送が必要な書類が受付期間内に本学へ到着するように、「特定記録・速達郵便」で送付してください。受付期間内に到着していない場合は出願を受理しないので、注意してください。

☆『インターネット出願』の詳細については、高知大学 HP 内の「受験生サイト」に順次掲載します。（<http://nyusi.kochi-u.jp>）

インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、四国国立5大学インターネット出願専用コールセンターをご利用ください。

●受付期間：2020年1月6日（月）～1月24日（金）

●受付時間：午前9時から午後5時まで（土日祝除く）

●電話番号：075-211-6556

注：「東日本大震災」「平成28年熊本地震」「平成30年7月豪雨」又は「北海道胆振東部地震」により被災し、入学検定料免除を希望される方は、必ず出願前に学務部入試課（088-844-8153）までご連絡ください。

◀ 入学検定料免除に関する詳細はこちら → <http://www.kochi-u.ac.jp/shinsai/> ▶

(2) 出願期間

出願情報の登録期間	2020年1月6日（月）～ <u>1月24日（金）13時まで</u>
入学検定料の支払期間	2020年1月20日（月）～ <u>1月24日（金）13時まで</u>
郵送が必要な書類の受付期間	2020年1月20日（月）～ <u>1月24日（金）17時まで（必着）</u>
【注意！】 インターネット出願において、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。 郵便事情を十分考慮のうえ、調査書等の郵送が必要な書類（6ページ参照）が受付期間内に本学へ到着するように「特定記録・速達郵便」で郵送してください。受付期間後に到着した場合は出願を受理しないので、注意してください。	

※出願に必要な書類の受付は郵送のみです。（持参では受け付けません。）

(3) 入学検定料 17,000円

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

（注）納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。

(4) 出願に関する留意事項

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、受け付けません。
- ② 出願書類受付後の書類の返還及び記載事項の変更は認めません。ただし、連絡先の変更は速やかに本学まで申し出てください。
- ③ 出願書類のうち、日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付してください。

(5) 郵送が必要な書類等

宛名票を貼った角形2号封筒に以下の書類等を入れて送付してください。

書 類 等	摘 要
入学願書	入学検定料支払手続完了後に出願サイトからダウンロードできます。A4 サイズで印刷してください。 印刷できない場合は、A4の白紙にその旨記入し、入学願書の代わりとしてください。
推薦令和2センター試験成績請求票 (国公立推薦入試用)	大学入試センター交付のものを、入学願書の所定欄に貼ってください。
推薦書	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、出身学校長において作成し厳封してください。印刷できない場合は、A4の白紙に推薦書の内容をすべて出身学校長において作成し厳封してください。 《 http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi 》
調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封してください。 注) 出身高等学校において指導要録が保存年限を超え、調査書(成績証明書を含む)が発行できない場合には、その旨を記した証明書及び卒業証明書の提出をもって、これに代えることができます。

(6) 受験票の印刷

インターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

ダウンロード期間などの詳細は、高知大学HP内の「受験生サイト」に順次掲載します。

《 <http://nyusi.kochi-u.jp/> 》

4 障がい等のある者の出願

障がい等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。

なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障がいの種類や修学環境等によって異なりますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障がい学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

2019年12月27日(金)まで

※ 上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑥に従って進めます。

※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、事前相談してください。

① 電話もしくはメールによる相談、オープンキャンパスでの相談等

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「(3)の①」の連絡先で、修学上の支援については「(3)の②」に記載の特別修学支援室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。また、毎年夏に開催されるオープンキャンパスでは、障がい等のある入学志願者向けの窓口を設置し、入学志

願者だけでなく、保護者・高等学校教員からの相談にも対応しています。

② 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類の確認

障がい等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の際に、本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」や「状況に応じて必要となる証明書（大学入試センター試験の受験上の配慮決定通知書の写し、身体障害者手帳の写し、医師の診断書（発行後 3 か月以内のもの）」の提出について、お知らせします。

※ 大学入試センター試験の受験上の配慮決定通知を受けている者については、診断書（大学入試センターに提出したもの）はコピーでかまいません。その他の者については、状況に応じて原本を提出していただくことがあります。ご希望があれば、本学でコピーのうえ返却します。

③ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の提出

「(1) 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期に、本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて「(3)の①」の連絡先まで提出してください。

※ 本学所定の様式は、高知大学受験生サイト (<http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>) より、ダウンロードしてください。

（重複した障がいや様式に明確にあてはまらない障がいのある方は、障がい等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。）

④ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

⑤ 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑥ その他

「相談の期限」（(1) 事前相談の時期 参照）以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「(3)の①」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「(3)の②」に記載の特別修学支援室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

① 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号
TEL 088-844-8153 FAX 088-844-8147

② 特別修学支援室に関する情報ならびに本学の障がい者支援について

高知大学学生総合支援センター 特別修学支援室
〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号
TEL/FAX 088-844-8037
E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp
URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/tokushu/>

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構、駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障がい者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用機の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例（全ての支援を確約するものではありません）
（これまでに行った支援の例）

- ・欠席時の代替課題
 - ・授業内支援（ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可）
 - ・教室環境（換気、教室変更）
 - ・移動支援（別移動手段）
 - ・試験の別室受験・支援機器利用許可
 - ・スケジュール管理サポート
 - ・段差にスロープ設置
 - ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保
- （想定される支援の例）
- ・書類提出における介助者代筆許可
 - ・聴覚障がい等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
 - ・視覚障がいのある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
 - ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
 - ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
 - ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

5 選抜方法

大学入試センター試験の成績は、令和2年度の成績を利用して判定します。

注）「選抜方法と評価する能力の対応表」にある◎，○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示します（◎は必須・最重点項目，○は必要・重点項目）。なお，◎，○は配点の内訳とは直接関係ありません。

① 教育学部 学校教育教員養成課程

（幼児教育コース）（教育科学コース・（※）教科教育コース・特別支援教育コース）

大学入試センター試験の成績，小論文，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。

小論文は，文章あるいはその他の資料などの内容をよく理解し，自らの考えを的確に論述する能力をみます。

面接は，集団面接の方法で行い，保育士・幼稚園教諭又は教師という仕事に強い関心や意欲があり，質問の意図や人の意見を正確に理解し，自分の考えや意見を的確に伝えることができる能力をみます。

※ 教科教育コースは募集枠の名称であり，2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選 抜 方 法	センター試験	◎	○		
	個別 学力検査	小論文	○	◎	
		面接		○	◎

調査書，推薦書を総合して判定します。

② 農林海洋科学部 農林資源環境科学科(暖地農学主専攻領域)

大学入試センター試験の成績，小論文，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。

小論文は，文章表現力，思考力，理解力，論理性などを総合的に評価します。

面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲	
選抜方法	センター試験	◎	○			
	個別 学力検査	小論文	○	○	○	○
		面接			○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。また，総合判定に加味することがあります。

③ 農林海洋科学部 農林資源環境科学科(自然環境学主専攻領域)

大学入試センター試験の成績，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。

面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	センター試験	◎	○		
	個別 学力検査	○	○	○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。

④ 農林海洋科学部 農林資源環境科学科(森林科学主専攻領域)【一般推薦】【専門推薦】

大学入試センター試験の成績，小論文，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。

小論文は，文章表現力，思考力，理解力，論理性などを総合的に評価します。

面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲	
選抜方法	センター試験	◎	○			
	個別 学力検査	小論文	○	◎		
		面接	○	○	○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。

⑤ 農林海洋科学部 農林資源環境科学科(生産環境管理学専攻領域)

大学入試センター試験の成績，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。
面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	センター試験	◎	○		
	個別 学力検査	面接	○	○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。

※ 生産環境管理学プログラム履修生にふさわしい人物を選抜します。なお，生産環境管理学プログラムについては，次の URL をご参照ください。

◀ <https://www.kochi-u.ac.jp/agrimar-skk/index.html> ▶

⑥ 農林海洋科学部 農芸化学科

大学入試センター試験の成績，小論文，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。
小論文は，文章表現力，思考力，理解力，論理性などを総合的に評価します。
面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	センター試験	◎	○		
	個別 学力検査	小論文	◎		○
		面接	○	○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。

⑦ 農林海洋科学部 海洋資源科学科(海洋生物生産学コース)【一般推薦】【専門推薦】

大学入試センター試験の成績，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。
面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	センター試験	◎	○		
	個別 学力検査	面接	○	○	○

調査書，推薦書は面接の資料とします。

⑧ 農林海洋科学部 海洋資源科学科(海底資源環境学コース)

大学入試センター試験の成績，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。
面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	センター試験	◎	○		
	個別学力検査	○	○	○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。

⑨ 農林海洋科学部 海洋資源科学科(海洋生命科学コース)

大学入試センター試験の成績，面接に加え，調査書及び推薦書を総合して判定します。
面接は，個人面接の方法で行い，志望動機，意欲，適性について総合的に評価します。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	センター試験	◎	○		
	個別学力検査		○	○	◎

調査書，推薦書は面接の資料とします。

6 実施教科・科目・配点等

(1) 各学部共通の注意事項

【表中の教科・科目等の表記について】

・大学入試センター試験の利用教科・科目名等は次のように略しています。

○ 国語 → 「国」
「国語」 → 「国」

○ 地理歴史 → 「地歴」
「世界史A」 → 「世A」, 「世界史B」 → 「世B」, 「日本史A」 → 「日A」, 「日本史B」 → 「日B」,
「地理A」 → 「地理A」, 「地理B」 → 「地理B」

○ 公民 → 「公民」
「現代社会」 → 「現社」, 「倫理」 → 「倫」, 「政治・経済」 → 「政経」, 「倫理, 政治・経済」 → 「倫・政経」

○ 数学 → 「数」
「数学Ⅰ」 → 「数Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ」 → 「数Ⅱ」,
「数学Ⅱ・数学B」 → 「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」 → 「簿」, 「情報関係基礎」 → 「情報」

○ 理科 → 「理」
「物理基礎」 → 「物基」, 「化学基礎」 → 「化基」, 「生物基礎」 → 「生基」, 「地学基礎」 → 「地学基」,
「物理」 → 「物」, 「化学」 → 「化」, 「生物」 → 「生」, 「地学」 → 「地学」

○ 外国語 → 「外」
「英語」 → 「英」, 「ドイツ語」 → 「独」, 「フランス語」 → 「仏」, 「中国語」 → 「中」, 「韓国語」 → 「韓」

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

・利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用います。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者となりません。（個別学力検査等を受験することも出来ません。）

・『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

・「外国語」の教科について「英語」は、リスニングを含みます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

・数学①、数学②、理科①及び理科②は、大学入試センター試験のグループの別を表します。

・理科①「基礎を付した科目」は、2科目を合わせて1科目と見なします。

・外国語（英語）は、筆記（200点）とリスニング（50点）の合計（250点）を換算します。

(2) 各学部の注意事項

以下の内容が表示してある表の下にも各学部の注意事項を記載していますので、必ず参照してください。

・教育学部

学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 ※3																			
	教科	科目名	受験を要する科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	小論文	面接	配点合計								
											①	②	①	②											
学校教育教員養成課程	幼児教育	国 国	1科目	その他	小論文, 面接	センター試験 (パターン1)	20	20 2科目 各10	10	10	10	20	20	20	50	50	50	190							
		地歴・公民	1科目 又は 2科目																3教科 又は 5科目 又は 3教科 6科目 又は 4教科 5科目 又は 4教科 6科目	センター試験 (パターン2)	20	20 2科目 各10	10	20 2科目 各10	20
		数	1科目 又は 2科目																						
	理※2	2科目	センター試験 (パターン3)			20	10	10	20 2科目 各10	20															
	物基, 化基, 生基, 地学基	1科目 又は 2科目									個別学力検査等				50	50									
	外	英, 独, 仏, 中, 韓	1科目			計	20	50	20	50							50								
	[5教科7科目]又は[5教科8科目]又は [6教科7科目]又は[6教科8科目]																								

【学科等名】欄

※1 教育学部学校教育教員養成課程の教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

※2 「理科」の教科については、次のとおりとします。

地理歴史、公民と数学を併せて4科目を選択した場合は以下の①、3科目を選択した場合は以下の②になります。

①「基礎を付した科目」4科目のうちから2科目を選択、又は「基礎を付していない科目」4科目のうちから1科目を選択。

②「基礎を付した科目」4科目のうちから2科目並びに「基礎を付していない科目」4科目のうちから1科目を選択（「同一名称科目を含む基礎を付した科目」との選択は認めません）、又は「基礎を付していない科目」4科目のうちから2科目を選択。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

※3 大学入試センター試験の成績900点を90点に換算します。

・農林海洋科学部

学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等 教科等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																								
	教科	科目名	受験を要する 科目数		試験の区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	小論文	面接	配点合計													
									①	②	①	②																	
暖地農学 主専攻領域	国	国	1科目	その他 小論文、 面接	センター試験	200			100	100	100	200				700													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	1科目														個別学力検査等								100	100	200		
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目																										
	理	物基、化基、生基、地学基	2科目														1科目 又は 2科目	計	200			200	100	200	100	100	100	900	
物、化、生、地学		1科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科5科目]又は[4教科6科目]																										
農林資源環境科学科 自然環境学 主専攻領域	国	国	1科目	その他 面接	センター試験	100			100	100	200 2科目各100	200				700													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	1科目														個別学力検査等									100	100		
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目																										
	理※2	物基、化基、生基、地学基	2科目														2科目 又は 3科目	計	100			200	200	200	200	100	100	800	
物、化、生、地学		1科目 又は 2科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科6科目]又は[4教科7科目]																										
農林資源環境科学科 森林科学 主専攻領域 (一般推薦) (専門推薦)	国	国	1科目	その他 小論文、 面接	センター試験	200			100	100	100	200				700													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	1科目														個別学力検査等									100	100	200	
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目																										
	理	物基、化基、生基、地学基	2科目														1科目 又は 2科目	計	200			200	100	200	100	100	100	900	
物、化、生、地学		1科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科5科目]又は[4教科6科目]																										
農林資源環境科学科 生産環境管理学 主専攻領域	国	国	1科目	その他 面接	センター試験	200			100	100	100	200				700													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	1科目														個別学力検査等										100	100	
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目																										
	理	物基、化基、生基、地学基	2科目														1科目 又は 2科目	計	200			200	100	200	200	100	100	800	
物、化、生、地学		1科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科5科目]又は[4教科6科目]																										
農芸化学科	国	国	1科目	その他 小論文、 面接	センター試験	200			100	100	200	200				800													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	1科目														個別学力検査等										100	100	200
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目																										
	理※1	物基、生基、地学基	2科目														1科目 又は 2科目	計	200			200	200	200	200	100	100	1000	
化基		1科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科5科目]又は[4教科6科目]																										
海洋資源科学科 海洋生物生産学 コース (一般推薦) (専門推薦)	国	国	1科目	その他 面接	センター試験	200			100	100	200	200				700													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、 数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目														個別学力検査等											100	100
		理	物基、化基、生基、地学基																										
	物、化、生、地学		1科目																										
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科4科目]又は[4教科5科目]																										
海洋資源科学科 海底資源環境学 コース	国	国	1科目	その他 面接	センター試験	100			50	50	400 2科目各200	200				800													
	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	1科目														個別学力検査等											100	100
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	1科目																										
	理※2	物基、化基、生基、地学基	2科目														2科目 又は 3科目	計	100			100	400	200	200	100	100	900	
物、化、生、地学		1科目 又は 2科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[4教科6科目]又は[4教科7科目]																										
海洋資源科学科 海洋生命科学 コース	国	国	1科目	その他 面接	センター試験	100	50	50	50	50	200	200				650													
	地歴・ 公民	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B、現社、 倫、政経、倫・政経	1科目														個別学力検査等											100	100
		数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A																										
	数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報		1科目																										
理	物基、化基、生基、地学基	2科目	1科目 又は 2科目	計	100	50		100	200	200	200	100	100	750															
	物、化、生、地学	1科目																											
外	英、独、仏、中、韓	1科目	[5教科6科目]又は[5教科7科目]																										

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

※1 「理科」の教科については、次のとおりとします。

「基礎を付した科目」4科目のうちから「化基」及び他の3科目から1科目選択、又は「基礎を付していない科目」から「化」を選択。

※2 「理科」の教科については、次のとおりとします。

「基礎を付した科目」4科目のうちから2科目並びに「基礎を付していない科目」4科目のうちから1科目を選択（「同一名称科目を含む基礎を付した科目」との選択は認めない）、又は「基礎を付していない科目」4科目のうちから2科目を選択。

7 検査期日・時間及び検査場

学部	学科・課程	実施日	集合時刻	検査時間		検査場
教育学部	学校教育教員養成課程 (幼児教育コース, 教育科学コース・(※) 教科教育コース・特別支援教育コース)	2020年 2月7日(金)	8:30	小論文	9:00~11:00	(朝倉キャンパス) 高知市曙町 2-5-1
			12:15	面接	12:30~18:00	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科 (暖地農学主専攻領域, 森林科学主 専攻領域【一般推薦】【専門推薦】)	2020年 2月2日(日)	9:30	小論文	10:00~11:30	(物部キャンパス) 南国市物部乙 200
			12:50	面接	13:00~17:00	
	農芸化学科	2020年 2月2日(日)	12:50	面接	13:00~17:00	
			12:50	面接	13:00~17:00	

※ 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

(注) 検査場の下見は、「物部キャンパス：2月1日(土)13時～」「朝倉キャンパス：2月6日(木)13時～」からできます。(建物内に入ることはできません。)

8 受験上の注意事項

(1) 検査場への集合等

- ① 受験者は、掲示により集合場所を必ず確認し、各学部等指定の時刻までに入室してください。
- ② 検査室入室後は、教科書・参考書等は開かないでください。
- ③ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(2) 携行品

- ① 「大学入試センター試験受験票」及び「本学受験票」は必ず持参してください。
- ② 黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)以外のものは使用できません。
- ③ ①, ②以外の携行品は、指定の場所に置いてください。(コート等は着用しても差し支えありません。)
- ④ 検査室での温度調整は、各自衣服等でしてください。
- ⑤ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、検査室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。

(3) 受験票

- ① 大学入試センター試験の受験票を紛失した者は、大学入試センター試験「受験案内」を読んで、再交付を受けておいてください。(入学手続の際にも必要なので受験後も紛失しないよう保管しておいてください。)
- ② 検査当日に受験票を忘れた者は、受験票再交付場所(当日の掲示に注意)で所定の手続きを行い、受験してください。

(4) 遅刻者

検査開始後30分を超えたときは、受験することができません。

また、面接は定められた集合時刻に遅れると受験することができません。

(5) その他

- ① 各学部でそれぞれ課している科目等を全て受験しないと合格者となりません。
- ② 検査が終了するまでは退室できません。
- ③ 検査中、発病等で一時休養を希望するとき、又はトイレ等で席を立ちたいときは、手を挙げて、監督者の指示に従ってください。なお、これらの場合でも試験時間の延長は行いません。
- ④ 監督者の指示に従わないとき又は不正行為をしたとき、もしくはしようとしたときは、失格とします。
- ⑤ 朝倉キャンパスでは、検査期間中、自動車の構内乗り入れ及び駐車は禁止します。周辺に駐車場はありませんので、来学の際は公共交通機関をご利用願います。
物部キャンパス（農林海洋科学部）については自動車の乗り入れは可能ですが、係員の指示に従ってください。
- ⑥ 昼食場所は、朝倉キャンパスでは学生会館を利用できますが、検査当日は混雑することがあります。
物部キャンパスでは食堂の営業をしておりませんので、必要な場合は、各自準備してください。
- ⑦ 保護者等控室は、朝倉キャンパスは学生会館、物部キャンパスは日章会館を利用してください。

駅及び検査場周辺等における合格電話・電報等への注意

検査前日又は検査当日、最寄りの駅又は検査場周辺等で「合格電話・電報」等の受け付けをする者がおりますが、これらの行為は本学とは何ら関係のないものであり、これらのことから生じるトラブルに対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

9 合格者発表と選抜結果の通知

- ① 合格者の発表は、2020年2月12日（水）の10時（予定）に、本学朝倉キャンパス掲示板に受験番号を掲示するとともに、選抜結果を受験者全員及び推薦のあった出身学校長に通知します。
（合格者には合格通知書と入学手続関係書類を特定封筒郵便（レターパックライト）で送付します。）
- ② ホームページ上でも合格者発表を行いますが、必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト：<http://nyusi.kochi-u.jp/>
掲 載 日 時：2020年2月12日（水）10時（予定）
- ③ 電話等による問い合わせには一切応じません。

10 入学手続

入学手続は、次のとおりですが、詳細については合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

2020年2月13日（木）から2月19日（水）17時まで（必着）

※郵送のみ（持参では受け付けません。）

（注）郵送する際に、入学手続期間最終日の17時までに必着することを必ず確認し、「特定記録・速達郵便」で送付してください。（手続期間後に到着した場合は受理できませんので特に注意してください。）

(2) 入学手続書類の送付先

高知大学学務部入試課（〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号）

(3) 入学手続書類

入学手続書類は、合格通知書とともに送付しますが、それ以外に用意するものは、次のとおりです。

- ① 卒業(修了)証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・1通【卒業(修了)後速やかに提出，3月15日(日)必着】
- ② 大学入試センター試験受験票・・・・・・・・・・・・・本学において手続完了印を押して返します。
- ③ 写 真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2枚(4cm×3cm・私服で撮影したカラー写真)

(4) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円

○ 注意事項

- 1) 入学料は、入学手続時に納付してください。
- 2) 授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。
(第1学期分267,900円(年額535,800円))
- 3) 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、合格発表後できるだけ早く申し出てください。なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。
入学料・授業料の納付後は、免除等申請ができません。
(問い合わせ先 = 高知大学学務部学生支援課学生生活支援係(電話 088-844-8146))
- 4) 納入した入学料は、入学手続完了後においてはいかなる理由があっても返還しません。
- 5) 入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続を完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付しなければなりません。
- 6) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

(5) 注意事項

- ① 合格者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。
ただし、特別の事情により、2020年2月19日(水)までに学校長から入学辞退願が提出され、許可された者は除きます。
- ② 手続期間内に入学手続を完了しない者は、辞退者として取り扱い入学を許可しません。
なお、この場合の辞退者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 提出書類の記載内容に虚偽の記載が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。また、入学後に判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

11 不合格者の国公立大学への出願

不合格となった場合に備え、本学を含めた国公立大学が実施する一般入試(前期日程試験及び後期日程試験)に出願することができます。(出願期間は、2020年1月27日(月)～2月5日(水))

(注) 本学に出願する場合は、「2020年度学生募集要項(一般入試)高知大学」で確認してください。

12 入学試験に関する情報の開示

本学では、2020年度入学試験に関する情報を次のとおり開示します。

(1) 受験者の入学試験成績に関する事項

① 開示内容

[人文社会科学部，教育学部，理工学部，農林海洋科学部，地域協働学部]

- ・試験成績（一般入試，推薦入試）
大学入試センター試験成績の合計，個別学力検査等科目毎の成績，順位

〔医学部〕

- ・試験成績（一般入試）
大学入試センター試験成績の合計，個別学力検査等成績の合計

- ② 開示は，受験者本人に対して行います。（代理人には開示できません。）
- ③ 開示請求の受付期間は，2020年5月7日（木）から5月29日（金）までです。
（土曜日，日曜日を除く8時30分から17時まで）
- ④ 開示の請求方法

開示は，受験者本人が上記受付期間に本学所定の「個人成績開示願書」，「本学受験票」，「大学入試センター試験受験票」，返信用の封筒（長形3号封筒に簡易書留郵便料金404円分の切手を貼り，受験者本人の住所・氏名を明記したもの）を持参又は郵送してください。

※本学所定の「個人成績開示願書」は，高知大学受験生サイト（<http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>）より，ダウンロードしてください。

試験成績は，願書受理後1か月以内に送付します。

（2）入学者選抜実施状況資料

次の情報を公表します。

- ① 志願者数，受験者数，合格者数，入学者数，追加合格者数，入学辞退者数
- ② 合格者成績情報（合格者が10人未満の場合は公表しません）
〔人文社会科学部，教育学部，理工学部，農林海洋科学部，地域協働学部：一般入試，推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ〕
〔医学部：一般入試〕
大学入試センター試験成績の合計，個別学力検査等成績の合計及び総得点について，それぞれの最高・最低・平均点

※ 入学者選抜実施状況資料は2020年4月中旬以降に，高知大学受験生サイト（<http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>）に公表します。

13 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき，本学入学者選抜に用いた個人情報については，入学手続，入学者選抜に係る調査・研究等及び就学に係る用途にのみ使用し，他の目的に利用，又は提供することはありません。

ただし，国公立大学の一般入試における合格者決定業務を円滑に行うため，合格及び入学手続等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

また，合格者に限り，入学後の就学に係る学生サービスのために，出願時に入力された住所情報を各学部後援会，高知大学生生活協同組合に提供することを御了承願います。

検査場案内

検査場：高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

[交通アクセス]

① JRで来られる方へ

J R 朝倉駅	徒歩(約5分).....▶	高知大学朝倉キャンパス
J R 高知駅	路面電車(とさでん交通, 以下, 省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分), 「はりまや橋」電停で下車, 以下のA~Cへ乗り換え	

② 航空機で来られる方へ

空港連絡バス 「高知龍馬空港」で乗車(約30分), 「はりまや橋」で下車, 以下のA~Cへ乗り換え

【乗り換え】高知市内中心部より

A 路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉(高知大学前)」・「いの」行きに乗車(「鏡川橋」経由)(約30分), 「朝倉(高知大学前)」下車, すぐ.....▶	高知大学 朝倉キャンパス
B とさでん交通バス 「はりまや橋」バス停	「学芸高校」方面行きに乗車(約25分), 「朝倉(高知大学前)」下車, すぐ.....▶	
C とさでん交通バス 「堺町」バス停	「宇佐」・「高岡」・「須崎」・「天王ニュータウン」・「八田」・「長沢」・「土居」・「狩山口」・「学芸高校」(いずれも土佐道路経由を除く)方面行きに乗車(約25分), 「朝倉(高知大学前)」下車, すぐ.....▶	

※発着時刻・料金は, 時刻表などでご確認ください。

検査場：高知大学物部キャンパス(南国市物部乙200)

[交通アクセス]

① JRで来られる方へ

J R 高知駅	空港連絡バス(「高知駅前観光バス」または「とさでん交通」)に乗車(約30分)し, 「高知龍馬空港」で下車後, 徒歩約15分.....▶	高知大学 物部キャンパス
J R 後免駅	タクシー(約30分).....▶	
J R 後免駅	タクシー(約20分).....▶	

② 航空機で来られる方へ

高知龍馬空港	徒歩約15分。又はタクシー.....▶	高知大学 物部キャンパス
--------	---------------------	-----------------

※発着時刻・料金は, 時刻表などでご確認ください。

各キャンパス案内図



入 試 情 報

入試情報 高知大学受験生サイト(<http://nyusi.kochi-u.jp/>)にアクセスしてください。

学部・学科等の案内は下記でもご覧いただけます。

・「マナビジョン」 (<http://manabi.benesse.ne.jp/>)

・「携帯サイト」 (<http://daigakujc.jp/kochi-u/>)



◎ 入学試験に関する問い合わせ先

入学試験に関することについては、月曜日～金曜日（祝日等を除く）の 8 時 30 分～17 時までの間に次のところに問い合わせてください。

高知大学学務部入試課 **TEL 088 - 844 - 8153**
 FAX 088 - 844 - 8147

受 験 時 の 宿 泊

受験のための宿泊希望者は、高知大学生協の受験時の宿泊予約サイト(<http://vsign.jp/kouchi/hotel/>)をご覧ください。

QR コードは
こちらから ⇒



高知大学学務部入試課
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号